

「課題名：緑内障手術における術後眼内炎予防としての抗菌薬全身投与の必要性に関する検討」について

○ 研究の意義・目的

緑内障手術における術後眼内炎予防としての抗菌薬全身投与の必要性について、本邦ではまだ明らかな見解が得られていません。今回、抗菌薬全身投与を行わなかった場合の緑内障手術術後眼内炎の発生率を調査することで、その必要性を明らかにするため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

2016年2月2日から2021年5月31日までに、広島大学病院眼科診療科で緑内障手術を受けられた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は年齢、身長、体重、性別、既往歴、手術歴、有害事象、薬剤使用歴です。（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間

委員会承認後 ～ 2024年12月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。（モニタリング有の場合）ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5578

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰（研究責任者）

薬剤師 中野佑郁（担当者）